

事前質問・回答一覧(総合振興計画審議会第1回会議【安心部会】)

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
14	確かな学力の育成をめざした教育の推進	7. 施策指標	教員研修会参加人数の基準が、「市独自の研修会」から「教員研修会」に変更になった理由は何か。	板垣委員	内容的には同一の指標であるが、表記をシンプルにわかりやすくするために変更しました。	学校教育課
15	地域と連携した教育の推進	7. 施策指標	過去の審議会で「学校応援団への協力者数」は指標として不適切なので見直すべきという意見が出ていたが、今回見直ししなかった理由は何か。	板垣委員	他に、この指標に代わる適切な指標がなく、今後も「学校応援団への協力者数」を増やし、地域と連携を図った教育を推進していく必要があるために、指標の見直しは行いませんでした。	学校教育課
17	放課後児童の居場所づくりの推進	7. 施策指標	H27、32の各目標値の内、新規事業分はどれくらい見込んでいるか。	板垣委員	目標値として見込んだ新規事業分はそれぞれ次のとおりです。 <<H27>> 居場所の数:4箇所 地域協力者の数:45人 教室開催数:713回 <<H32>> 居場所の数:9箇所 地域協力者の数:130人 教室開催数:1,794回 なおこのほかに、平成28年度の下新倉小学校開校に伴い、既存の放課後子ども教室の会場が平成28年度末から1箇所増となる計画です。	生涯学習課
19	安全な学校教育環境の整備	7. 施策指標	「課題」には地域との協力等が加わったが、「地域の協力の進捗状況が把握できる指標を設定すること」という部会の意見を採用しなかった理由は何か。	板垣委員	市は具体的な地域との協力として、平成25年度に協働事業提案制度を活用し、交通安全指導を実施している朝霞地区シルバー人材センターと同じ条件で市内に募集をかけました。その際、問い合わせが1件だけありましたが、結局地域の方の賛同がなく、制度活用には至りませんでした。審議会のご意見を反映したいところでしたが、このような結果でしたので、これを具体的な指標とすることはできません。ただし、市内には児童の登下校を見守ってくださる方が多くいらっしゃいます。毎日のことでもあり、人数把握はできないことから、やはり指標として数字に表すことは難しいと思われませんが、地域の方々のご協力により、引き続き児童を見守っていただきたいため、地域との協力等という文言は残しました。	教育総務課
20	小中学校の配置・規模の適正化の推進	7. 施策指標	小学校についても平均ではなく、学校間格差を示す指標にしないのは何故か。	板垣委員	大規模校の解消を目的としていることから、ご指摘の内容を踏まえ大規模校となっている白子小学校の児童数に対する指標として見直しを行います。 指標名 白子小学校児童数(人) 現状値(H26) 798人 目標値(H32) 450人 目標値設定の参考となる数値 指標説明:現状の白子小学校児童数 ※下新倉小学校設置により1校当たりの平均児童数により近づけることを目標としていきます。	学校建設準備室
23	充実した生涯学習機会の提供	4. 課題/6.取組内容	公民館の在り方が問われる中で、新たな「生涯学習振興計画」の作成はしないのか。	板垣委員	生涯学習振興計画の計画期間満了後は、各年度の「和光市教育行政の基本目標と重点施策」に基づいて業務を行っています。長期的な展望については、市の総合振興計画の中に位置づけ、必要に応じて見直しを図っていきます。	生涯学習課
		7. 施策指標	自主クラブ化数を指標から外した理由は何か。	板垣委員	講座参加者が自主クラブ化することは、学習者それぞれの意思によるものです。そのため、必ずしもその件数は、公民館の主体的な取り組みや努力に比例する数値ではなく、達成度を測る指標として適切ではないと考えました。本施策は、市民一人ひとりの自主的な学習意欲を高めることを目的としていますので、公民館主催講座にどれほどの人数が自主的に参加したか、という指標のほうが、より目的に対する施策の成果をあらわしやすと考えました。	生涯学習課

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
24	青少年の育成に適した環境づくりの支援	4. 課題	「現状に合った支援が必要です」の意味することは何か。	板垣委員	現在子育てをしている家庭の状況は核家族や共働き、片親家庭であったり家庭環境は多様化しているので、画一的な地域活動は難しい状況にあり地域ごとの状況や家庭環境に配慮した支援が必要のため。	スポーツ青少年課
		7. 施策指標	青少年育成団体数を指標から外した理由は何か。	板垣委員	今後は人数の少ない育てる会同士が統合することも考えられ、団体数の増加が活性化と結びつかないため。また、事業の内容と事業数で充実度が分るため。	スポーツ青少年課
		8. 修正理由等	修正理由は何か(不備)。	荒木部会長	3-2. 平成27年度の現状 インターネットやスマートフォンの普及により、個人情報の流出、コミュニティサイトのいじめ、ネット依存が社会問題となっているため。 4. 課題 現在、子育てをしている家庭の状況、家族形態を考え、支援していく必要があるため。また、どんな支援が必要か保護者や指導者が問題の共有化を図る必要があるため。 6. 取組内容 子育て世代だけでなく、地域ぐるみでの健全育成が必要であるため。 7. 施策指標 団体数の増加が活性化と結びつかないため。また、事業の内容と事業数で充実度が分かるため。	スポーツ青少年課
26	創造的な文化の振興	8. 修正理由等	修正理由は何か(不備)。	荒木部会長	指標現状値更新のため。	政策課
29	人権啓発・教育及び平和の推進	4. 課題	学校やインターネットでのいじめなどの新たな人権問題への対応を課題として明示する必要はないか。	板垣委員	ご質問の件につきましては、3の現状において、「いじめなどの人権問題」として明示しており、新たに課題として明示はしません。なお、SNS等を利用してのいじめなどについては、生徒や保護者に対して指導、啓発活動を行っています。	人権文化課
30	男女共同参画社会の実現	7. 施策指標	「設定されている指標では実績値が把握できず、単年度の成果達成度の評価をすることができない」との指摘をどう受け止めたのか。	板垣委員	ご質問のとおり、「社会全体で男女の地位が平等になっていると考える人の割合」及び「女性の労働力率」の実績値は、5年毎に実施する市民意識調査を基にしているため、単年度では評価できないことから、毎年実施している各セミナー開催数を施策指標に追加します。	人権文化課
50	コミュニティづくりの推進	3-2現状/6.取組内容	重要な役割を果たしていると思われる「自治会活動支援員」の活動について、何らかの記述があった方が良いと思われるが如何か。	板垣委員	「自治会活動支援員」については、補助金を活用し、平成23年度から2年間、自治会連合会にて2名雇用をしておりました。現在は補助金の期間満了とともに雇用は終了しておりますが、支援員の事務につきましては、引き続き、自治連事務局職員2名が活動を引き継いで行っておりますので、今回、特に記述はしていません。	市民活動推進課